

日本地理学会1997年度春季学術大会

1997年度の日本地理学会春季学術大会は1997年3月28日～31日、東京都立大学（東京都八王子市）にて開催された。人口・社会保障に関連する研究として以下の9報告があった。今大会は小地域における高齢化、社会／福祉サービスに関する研究が多く、人口と社会保障にまたがるこの分野への関心が地理学においても高まりつつあることを実感した。なお、最後の3報告は本研究所が中心となって実施した環境庁地球環境研究総合推進費による研究プロジェクト「開発途上国における人口増加と地球環境問題の相互連関に関する基礎的研究」の成果報告である。

埼玉県所沢市における高齢転入者の移動特性

名古屋市における高齢者福祉サービスの供給とその利用

長野県出身者の「Uターン」移動に関する実態分析

平井 誠（筑波大・院）

杉浦真一郎（広島大・院）

江崎雄治（東京大）

荒井良雄（東京大）

川口太郎（明治大）

中国における人口移動の変化とその要因

張 貴民（秋田法経大）

菊地俊夫（都立大）

郭 煥成（中国科学院）

劉 盛和（中国科学院）

宮澤 仁（都立大・院）

東京都中野区における保育所サービスの供給と利用

に関する時間地理学的考察

疾病地図における地理的集計問題への情報量統計学的アプローチ

タイにおけるエネルギー消費とCO₂排出量の変化

バンコク郊外住民の移動歴と社会階層

タイ東北部農村の人口転換

中谷友樹（都立大・院）

佐藤哲夫（駒澤大）

中川聡史（社会保障・人口研）

高橋真一（神戸大）

（中川聡史記）

国連人口開発委員会第30回会合の概要

国連人口開発委員会の第30回会合が1997年2月24～28日、ニューヨークの国連本部で開催された。この会合はカイロ会議の『行動計画』のフォローアップの第2回目に当たり、中心テーマは国際人口移動であった。日本からは、小西正明国連大使を政府代表とし、国立社会保障・人口問題研究所副所長阿藤 誠、外務省経済協力局中村圀夫外務事務官、が代表代理として参加した。会合の概要は以下の通りである。

1. 役員選出

議長 レオン（Jose Gomez de Leon）メキシコ代表

副議長 クリンガー（Andreas Klinger）ハンガリー代表

ギールフェルト（Jenny Gierfeld）オランダ代表

カデジョ（Akintobi Kadejo）ナイジェリア代表

カリム（Raj Abdul Karim）マレーシア代表（ラポトゥール兼任）

2. 二つの決議案

第30回会合では2つの決議案が提出された。ひとつは「国際人口移動と開発」と題する決議案で、